

## 1 5 森との共生推進室事業概要

# (事業名) みんなで支える森林づくり推進事業

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
継続	H18～H32	4,452 千円 ( 7,010 )	森との共生推進室 (森づくり推進班)	097-506-3873 (内 3873)

## 事業の目的

森林環境税を活用した新たな森林づくりを着実に進めるにあたり、県民中心の推進体制を整備するとともに、森林が果たす役割や森林づくり活動を通じて県民の理解を深めるための普及啓発活動等を行う。

## 事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
豊かな国の森づくり大会の開催	2,672	県	森づくり活動への県民の参加を促進し、県民総参加の森づくり運動を推進する「豊かな国の森づくり大会」を開催	
新たな森林づくり推進体制整備事業	1,780	県	森林づくり委員会 森林環境保全基金の適正な運営・管理と、森林環境税事業に関する審議・成果の検証を行うための委員会を開催	
		流域林業活性化センター等	新たな森林づくり推進体制整備事業 地域独自の森林づくりを推進するため、流域毎に「森林づくり流域協議会」を開催	県 10/10
		県	次世代の大分森林づくりビジョン推進会議 「次世代の大分森林づくりビジョン」の推進に向けた会議を開催	

# (事業名) 森林づくりボランティア活動促進事業

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
継続	H18～H32	22,602 千円 ( 23,126 )	森との共生推進室 (森づくり推進班)	097-506-3873 (内 3873)

## 事業の目的

県民共通の財産としての森林を県民全体で支え守るため、森林づくりボランティア支援センターによる活動情報の収集・発信、森林づくり技術研修、並びに NPO、企業等が行う森林づくりを支援することにより、県民の森林ボランティア活動を推進する。

## 事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
森林づくりボランティア支援事業	3,992	NPO 法人	森林ボランティア活動情報の収集・発信や「森林づくりボランティア通い帳」を発行するとともに、森林ボランティア団体の安全確保、技術向上のための研修を実施	
企業参画の森林づくり推進事業	797	企業参画の森林づくり協定締結団体	企業の社会貢献活動としての森林づくり活動を支援	
森林づくり提案事業	16,449	NPO 等の団体、市町村森林組合、企業	各流域で NPO 等が行う活動に対して支援 森林づくり活動 森林環境教育 森林づくり活動施設等整備 補助金上限額 500 千円	県 10/10 以内 (但し、市町村、森林組合、企業は 1/2 以内) 県 1/2 以内
森林・山村多面的機能発揮対策事業	1,364	公益財団法人森林ネットおおいた	地域住民、森林所有者等が協働して実施する里山林の保全、森林資源の利活用などの取組に対し支援	国 3/4 (任意補助) 県 1/8 市町村 1/8

## (事業名) 荒廃竹林整備・利活用推進事業

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
継続	H21～H32	19,530 千円 ( 20,630 )	森との共生推進室 (森づくり推進班)	097-506-3873 (内 3873)

### 事業の目的

県土の保全と良好な景観の確保並びに竹資源の有効活用を図るため、観光地周辺や幹線道路沿線等の荒廃竹林の整備による里山の景観改善、竹材・タケノコ生産地としての竹林の再生、竹チップ・竹炭等の利活用を推進する。

### 事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
荒廃竹林整備事業(広葉樹林化)	9,900	市町村 森林組合等	所有者の自助努力によっては適正な整備が期待できない竹林において、伐竹整備、広葉樹植栽を実施	国 54/100 県 46/100
再生竹除去	400	市町村	荒廃竹林を広葉樹林へ転換するため過去に伐竹整備した事業地の再生竹を除去	県 3/4
優良竹林化・利活用推進	9,000	市町村	竹材、タケノコ生産地として持続管理や竹チップ等の利活用を推進するための伐竹整備及び簡易作業路等を開	伐竹整備： 県 3/4 簡易作業路 開設： 400 円/m
推進費	230			

## (事業名) 森林環境教育・木育促進事業

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
継続	H18～H32	8,919 千円 ( 8,935 )	森との共生推進室 (森づくり推進班)	097-506-3873 (内 3873)

### 事業の目的

次代を担う青少年に森林環境についての理解を深めてもらうため、NPO や学校等の各種実施主体が行う森林体験活動の支援や研修事業の実施、そのためのフィールドの整備を行う。

### 事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
森の先生派遣事業	5,334	県	地域や学校等で開催される研修会等に、県が認定する森の先生を講師として派遣 教育関係者を対象に森の先生を講師とした研修会の開催	
名樹とのふれあい事業	1,625	県、市町村	特別保護樹木のうち、不健全な樹木を保育・保全(整枝、剪定、枯枝除去等)により健全な状態に誘導し、巨樹古木と文化の関わりを学ぶ教材として活用	県 10/10 (上限 450 千円)
「次代の森林づくり活動リーダー育成研修」支援事業	700	大分県みどりの少年団 育成連絡協議会	森林環境教育や森林づくりを行う団体に所属し、活動を行ってきた小学生を対象とした研修を実施し、次世代の森林づくり活動のリーダーとなる人材の育成	県 1/2 (上限 700 千円)
企業参画の木育活動推進事業	866	民間企業	多くの県民が訪れる民間商業施設に、県産材の木製品等を導入することで、県民が木に触れる機会を増やし、木材利用に対する意識の醸成の推進	県 1/2 以内 (上限 200 千円)
推進費	394			

# (事業名) 鳥獣被害総合対策事業

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
継続	H18～	759,815 千円 ( 461,423 )	森との共生推進室 (森林環境保護班)	097-506-3876 (内 3876)

## 事業の目的

イノシシ、シカ、サル等の野生鳥獣による農林作物被害の軽減を図るため、狩猟者の確保・育成、農林業者が自ら被害対策を行う意識の醸成や技術の習得、鳥獣被害防止柵の設置、捕獲報償金の交付など、狩猟者確保・予防(集落環境)・捕獲に係る対策を講じ、集落全体で行う被害対策活動を実施・支援する。

## 事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
ハンター確保養成事業	1,557	県	若者や自衛隊OB等を対象としたスタートアップセミナーの開催(狩猟体験、ジビエ施設見学会等) 狩猟免許取得後のスキルアップセミナーの開催 大分レディースハンタークラブの活動支援 狩猟免許申請や狩猟者登録に係る手数料免除やわな専従に加え、銃を用いた有害捕獲専従者に対する狩猟税の不徴収	
捕獲支援事業	302,100	市町村	市町村が行う有害鳥獣捕獲許可に基づくイノシシ、シカ、サル、中型動物の捕獲に係る捕獲報償金に対する補助 ジビエ利用を促進するため、ジビエ処理施設への持込みの有無に応じて報奨金を設定(H30.11.1～) (シカ:施設への搬入13,000円/頭 その他11,000円/頭など)	定額 県1/2 市町村1/2
指定管理鳥獣捕獲等事業	7,200	県	シカの生息密度が高く、有害捕獲が進みにくい地域を対象に、認定鳥獣捕獲等事業者に捕獲を委託	
鳥獣被害自衛対策強化事業	3,399	県	鳥獣害対策アドバイザーの養成 鳥獣害対策専門指導員のスキルアップ サル被害防止対策新技術の検証	
鳥獣被害防止総合対策推進交付金事業	12,683	市町村、地域協議会	被害防止計画に係る被害防止活動等の経費に対する補助(協議会開催、実施隊活動等)	定額 国1/2
有害鳥獣被害防止対策事業	20,000	市町村	市町村が行う侵入防止柵設置に対する補助	県1/3 市町村1/3
森林シカ被害防止対策事業	1,008	森林組合、森林所有者	森林組合等が、森林の公益的機能の維持増進を図るために行うシカ用ネットの設置等に対する補助	県1/2
鳥獣被害防止総合対策整備交付金事業	404,755	市町村、地域協議会	被害防止計画に係る侵入防止柵設置に対する補助	定額 国1/2、 5.5/10
有害鳥獣被害防止柵復旧事業	5,123	市町村	平成29年度に被災した侵入防止柵の復旧に対する補助	県1/3 市町村1/3 (激甚指定) 県4.5/10 市町村4.5/10
推進費	1,990			

# (事業名) ズビエ利用拡大モデル整備事業

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
新規	H30~	48,283 千円 ( 0 )	森との共生推進室 (森林環境保護班)	097-506-3876 (内 3876)

## 事業の目的

ズビエの利用拡大を促進するため、国の進める「ズビエ利用モデル地区整備」に取り組み、処理施設の整備、県内外でのPR活動等の強化、学校給食への普及等により、安心して良質なズビエの安定供給と需要拡大を図る。

## 事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
ズビエ処理施設 整備事業	17,089	大分ズビエ 振興協議会	ズビエ処理施設の新設に対する補助	国 1/2 県 1/8 市町村 1/8
既存処理施設強 化事業	14,597	大分ズビエ 振興協議会	既存処理施設の共同利用によるロット化を図り、幅広い需要に対応するため、広域集荷を可能とする冷凍車や、良質肉のストックのための冷凍庫等の導入に対する補助	国 1/2 県 1/8 市町村 1/8
Gマーク認証取 得推進事業	5,872	大分ズビエ 振興協議会	Gマーク取得に向けた研修会の開催 規格・ラベル統一、認証取得審査に向けた指導 認証所得経費に対する補助	国 10/10
PR活動強化事 業	10,249	大分ズビエ 振興協議会	管理システムの活用による情報を一元化(捕獲量、供給可能 量、在庫量) 県内外でのプロモーション活動の強化 ズビエ料理教室、ズビエ料理コンテストの開催 学校給食でのズビエ普及	国 10/10
推進費	476			

## (事業名) 森林病虫害等防除事業

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
継続	H48～	17,262 千円 ( 17,312 )	森との共生推進室 (森林環境保護班)	097-506-3876 (内 3876)

### 事業の目的

保安林や制限林等の公益性の高い保全すべき重要な松林について、薬剤の樹幹注入や地上散布、伐倒鬮除等の各種防除活動を実施し、松くい虫被害の終息を図る。

### 事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
松くい虫奨励防除費補助	304	市町村	市町村が実施する松くい虫防除に要する経費に対する補助	県 3/4
松林保全対策事業費補助	8,374	市町村	市町村長が特に必要と認める重要な松林を対象に、薬剤の樹幹注入に要する経費に対する補助	国 2/4 県 1/4
松くい虫防除損失補償費	5,218	森林所有者	松林の所有者が、松くい虫の予防及び鬮除に要した経費に対する補償	定額 県 10/10
特定松林保全事業委託推進費	2,022	県	知事が特に必要と認める重要な松林を対象に、薬剤の樹幹注入を実施	
	1,344			